

『自動車関連技術講演会』開催のご案内

日時：平成22年1月28日（木）13：30～17：30

場所：名古屋駅前イノベーションハブ セミナー室

（名古屋市中村区名駅4丁目25番17号 三喜ビル7階）

定員：40名

参加：無料

（次頁申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールで出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、事務局アドレスへ送信下さい。）

講演スケジュール / 要旨

- 13:30～14:00 「高信頼性マグネシウム鍛造部材製造技術の開発」
齋藤 尚文（産総研 サステナブルマテリアル研究部門）

要旨：鍛造材はダイカスト材や鋳造材に比べて機械的強度に対する信頼性が高いにもかかわらず、マグネシウム合金の鍛造加工は普及していない。それは鍛造用素材として使われている押出しビレットが高価であることと鍛造技術の開発が遅れていることに起因していると思われる。今日の社会的要請である省エネルギーに応えるためには、輸送機器をはじめ空調機器などにマグネシウム部材がもっと多く使われねばならない。本講演では低コストである連続鋳造材を素材として、不均質な鋳造組織を鍛造工程中に均質微細結晶粒組織へ変化させることで、優れた機械的特性（引張強度 350MPa、耐力 220MPa、伸び 15%）を持つ鍛造部材を造ることを試みた結果などを紹介する。

- 14:00～15:00 「最近の海外におけるマグネシウム研究動向」
小原 久（日本マグネシウム協会 専務理事）

要旨：マグネシウムは、金属構造用材料の中では最も軽量であり、人体に対しても優しい金属であることから、これまでの自動車部品としての応用研究から更に発展し、航空機部品への採用や生体材料としての利用研究が欧州において積極的に進められている。また、隣国である中国はもとより韓国においてもマグネシウムの利用研究が進められており、世界各国におけるマグネシウムについての研究開発動向の現状を紹介する。

- 15:00～15:15 - 休憩 -

- 15:15～16:15 「マグネシウム合金の鍛造加工と輸送機器に向けた可能性」
関口 常久（宮本工業株式会社 技監、日本大学講師）

要旨：マグネシウムは構造用材料として最軽量であるために、環境対応や省エネルギー対策が求められる自動車への適用が注目されている。しかし、ヤング率・耐力値が低いことため断面二次モーメントを大きくした形状にする必要がある。ここでは、高強度マグネシウム合金の開発経過と鍛造技術開発及び形状自由度のある鍛造加工で自動車を中心とした輸送機器への適用可能性を報告する。

- 16:15～17:15 「炭素繊維複合材料の自動車用途展開について」
山中 亨（東レ株式会社 オートモーティブセンター 副所長）

要旨：炭素繊維および炭素繊維複合材料（CFRP）の特徴を中心とした技術的な概説を行い、炭素繊維を取り巻く社会環境とCFRPの用途展開事例について紹介する。特に、自動車・航空機のライフサイクルにおけるCO₂排出について、軽量化のメリットを炭素繊維協会モデルにより説明する。さらにCFRPによる自動車部品量産化のための成形加工技術、およびCFRPのリサイクル技術につき紹介する。

- 17:15～17:30 - 総合討論 -

【お問合せ】

産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 事務局（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL: 052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai@m.aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所：〒450-0002

名古屋市中村区名駅 4 - 25 - 17
三喜ビル7階（1階は百十四銀行）

名古屋駅より徒歩10分
ミヤコ地下街4番出口より徒歩1分



産総研コンソーシアム 名古屋工業技術協会 平成21年度 特別講演会
『自動車関連技術講演会』参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名（代表者）		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所（連絡先）	〒	TEL（ ）	-

本申込書に記載される個人情報は産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 研究会の連絡のみに利用させていただきます。